

## 第34回上越市景観審議会 次第

日時：平成30年3月23日（金）  
午後1時30分～午後3時  
会場：上越市役所4階401会議室

1. 開会

2. 部長あいさつ

3. 会長あいさつ

4. 報告事項

（1）平成29年度の景観事業の実績報告

（2）平成30年度の景観事業の取組（案）について

（3）その他

5. 閉会

## 平成29年度の取組実績について

## ■景観づくりの推進

## 1. 景観アドバイザー制度の活用

アドバイザー：色彩 吉田慎悟氏  
 照明 稲葉裕氏  
 デザイン 島津勝弘氏

開催実績：色彩…11回、照明…5回、デザイン…3回

※ 1案件に複数アドバイスをを行う場合があるため、件数と区分合計は一致しない

年度	アドバイス 件数	アドバイスの区分			施設内訳					
		色彩	照明	デザイン	商業	学校	福祉 施設	工場	共同 住宅	その 他
H27	56	47	14	16	5	7	2	0	2	40
H28	72	55	10	12	6	12	1	0	1	46
H29	69	54	18	12	2	5	4	0	2	56

## ◇アドバイス案件事例：オーレンプラザ

基本設計時から、周辺環境との調和の面から既存樹木を残す等のアドバイスを頂いた。照明計画やサイン計画も積極的にアドバイスをいただき、高田公園と調和した外観、暖かみのある照明計画、個性あるサイン計画を実現した。



## 2. 届出制度

景観づくり重点区域：安塚区全域

年度	地域	件数	内訳						
			商業	学校	福祉施設	工場	共同住宅	無線鉄塔	その他
H27	景観づくり重点区域を除く上越市全域	77	13	5	5	12	16	6	20
	景観づくり重点区域	4	0	0	0	0	0	2	2
	計	<b>81</b>	<b>13</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>12</b>	<b>16</b>	<b>8</b>	<b>22</b>
H28	景観づくり重点区域を除く上越市全域	84	13	4	10	7	9	23	18
	景観づくり重点区域	3	0	0	0	0	0	2	1
	計	<b>87</b>	<b>13</b>	<b>4</b>	<b>10</b>	<b>7</b>	<b>9</b>	<b>25</b>	<b>19</b>
H29	景観づくり重点区域を除く上越市全域	99	11	2	2	19	15	28	22
	景観づくり重点区域	6	0	0	0	0	0	3	3
	計	<b>105</b>	<b>11</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>19</b>	<b>15</b>	<b>31</b>	<b>25</b>

H30.3.16 現在

## ■市民意識の啓発活動

### 1. 市民対象景観セミナーの開催

目 的：雁木や町家、一般住宅や庭のライトアップの事例紹介や現地調査を通して、市民がまちの夜間景観について考える機会とする。

開催日：平成30年2月17日（土）午後4時30分～午後7時

会 場：町家交流館 高田小町 多目的ホール、旧今井染物屋

参加者：11人

- 内 容：
- (1) 照明の講義
  - (2) 照明調査、現地確認
  - (3) 照明のスケッチ
  - (4) ライトアップ実践
  - (5) ライトアップお披露目、解説



### 2. 景観情報紙の発行

目 的：景観まちづくりの活動団体を知っていただくことで、市民の景観に対する理解を深めてもらう。

発行部数：77,000部

配布先：全戸、各区総合事務所、出先機関 等

内 容：テーマは「景観とまちづくり」

- ・高田での景観まちづくりの活動を行っている方へのインタビュー
- ・高田公園内の景観に配慮した事例紹介 など



## ■職員意識の向上

### 行政職員・事業者対象景観セミナー

目 的：講義やディスカッションなどを通じて、サインやまちの見え方について考え、業務への実践を図る。

開催日：平成 30 年 2 月 27 日

会 場：ミュゼ雪小町

参加者：28 人（国職員 1 人、県職員 4 人、市職員 20 人、事業者 3 人）

内 容：「美しいまちに、情報整理する。」をテーマに、魅力的なまちにするための情報の見せ方、伝え方、整理の仕方、伝え方を考えた。

(1) 講義：「美しいまちへ、情報整理する。」 講師：島津 勝弘氏

(2) グループごとにまちあるき

(3) グループディスカッション

グループごとにサインや情報の見せ方についてディスカッション

(4) ディスカッション内容の発表と講評



(1) 講師講義



(2) グループごとにまちあるき



(3) グループディスカッション



(4) ディスカッション結果の発表、講評

## ■景観まちづくり団体への支援

### 南本町三丁目景観まちづくり団体への支援

・内容は、資料 2 参照

## 南本町三丁目における景観まちづくりの取組について

### ■これまでの経緯

上越市の景観計画の目標にしている「美しいまち上越」実現と地域の特性を活かした景観づくりを進めるため、平成 27 年度から南本町三丁目において地域住民と協働して各種取組を開始した。

#### □平成 27 年度

- ・南本町三丁目の住民と景観について話し合いやアンケートを実施。

#### □平成 28 年度

- ・南本町三丁目のまちの特性や課題について確認し合い、今後の景観まちづくりの取り組み方について話し合うため、景観まちづくり懇談会を開催。(計 3 回)
- ・南本町三丁目の景観形成の考え方：「温もりある人びとのくらしが豊かに感じられる  
味わいあるまちの形成」  
→住民にとって住みよいまちを主体的に形成していく。

### ■今年度の取組内容

#### □平成 29 年度

- ・ワークショップや修景活動を通じて地域住民と協働して景観まちづくり活動に取り組む。

#### 【平成 29 年度の南本町三丁目の景観まちづくり活動内容】

- ・のれんづくり  
町内でのれんの作成を進め、平成 29 年 10 月にのれん掛けワークショップを実施し、雁木通りにのれんを取り付けた。のれんの飾りつけによって、まちなみにリズムを出し、雁木通りの景観について改めて考える機会となった。



- ・フリーペーパーづくり

ヒト、モノ、コト、バをテーマにしたフリーペーパー「なんぼんさん」を平成30年1月に発行。町内の資産の再確認、共有、情報発信のツールとなった。



- ・高校生との連携

上越総合技術高等学校と連携し、期間限定のコミュニティスペースを設置。平成29年12月に町家の一部を借り、DIYによって空間づくりを行った。空き家や空き店舗の活用方法を考える機会となった。



### 【活動を通しての成果、課題】

- ・活動を通して、住民の景観やまちづくりに対する意識が向上した。
- ・アンケートからはまちづくりや景観へ興味がある人も多数見受けられたため、より気軽に参加できる方法を検討する。
- ・参加した人の多くは50代以上であったため、主に若者等の参加する年齢層を広げ、活動に関わる人を増やしていく必要がある。
- ・将来的には自立した継続性のある取組にする。

### ■今後の展開

27～29年度の実績を踏まえ、地域との合意形成を図りながら景観形成を進めるとともに、地域が主体的に景観まちづくり活動を実施できるような体制作りを支援する。

## 平成 30 年度の景観事業取組（案）について

### 【景観づくりの推進】

#### ○景観アドバイザー制度の活用

◇実施計画：月 1 回

色彩：12 回、照明・デザイン各 6 回

#### ○届出制度

◇景観法に基づき、適正な景観づくりへの誘導を図るため、届出制度を実施

### 【市民意識の啓発】

#### ○市民向け景観セミナー

◇目的：市民が景観について考えるきっかけをつくる。

◇内容：未定

#### ○景観情報紙の発行

◇目的：広く市内外から上越の魅力ある景観や景観施策の取組を知ってもらう。

◇内容：景観まちづくり活動の紹介 第二弾（直江津又は中山間地で検討中）

### 【職員意識の向上】

#### ○職員向け景観セミナー

◇目的：市職員や関係行政職員に対し、景観に対する意識向上、関係機関や官民の連携、必要な知識の習得を行い、実務にいかす。

◇内容：今年度のセミナー参加者へのアンケートで希望の多かった「景観まちづくり」又は「建物の色彩や環境色彩」で検討を進める。

### 【まちづくり活動の支援】

#### ○南本町 3 丁目景観まちづくりの会

・平成 29 年度の取組みを継続する。

・内容は、町内で検討中。